



令和5年12月11日

「JAバンク埼玉県信連の森づくり」活動の実施について

埼玉県信用農業協同組合連合会（以下、「当会」という）では環境問題をはじめとする社会的課題の解決に向け、自らの事業・活動を通じて持続可能な社会の実現に貢献する取組指針として「サステナブル経営ポリシー」を制定しております。当会は、その具体策として様々な地域貢献活動を実践しております。

サステナブル経営ポリシー

①活力ある県域農業の持続に向けた貢献

②豊かな暮らしのある地域社会の維持に向けた貢献

③環境問題の解決・気候変動の課題に対する貢献

当会は活動の一環として、令和5年12月2日（土）皆野町蓑山地区にて役職員ボランティアによる森林整備活動を実施しました。当活動は埼玉県並びに埼玉県農林公社との「埼玉県森づくり協定」に基づくもので、県民共有の財産である森林を守り育てることを目的に、山林の間伐や枝打ち作業を実施します。コロナ禍等の影響により昨年度まで一時活動を中断しましたが、今年は5年ぶり12回目の実施となりました。

今回の活動に先立ち、県農林部森づくり課並びに埼玉県中央部森林組合より講師を招き、埼玉県の森林・林業と保全活動について事前研修会を開催しました。森林に関する知見を深めながら参加者募集を行い、当日は当会役職員43名と県・農林公社の指導員を含め、総勢49名で活動を実施しました。

活動が初めての若手職員も、木の伐倒作業やロープを使っての引き倒し作業等を真剣に取り組み、約2時間の作業に汗を流しました。参加者からは「今回の活動を通して、森を管理することの大変さや大切さについて身をもって体験することが出来て良かった」等の声があり、当会が取組む森林整備活動を肌で感じる貴重な一日となりました。



当会は「埼玉県森づくり協定」に基づき、皆野町大字三沢地区内の公社営林を「JAバンクの森」と称し、森林整備活動をはじめとする森林づくり活動に取り組んでいます



10月23日 埼玉県森林事情についての事前研修を開催



12月2日 活動開催の挨拶を述べる当会黒澤理事長



間伐するスギの木を、指導を受けながらノコギリで伐採します。



伐倒する木にロープを掛け、協力して引き倒します！



倒した木の枝を払い、玉切りをして作業終了。



参加者の皆さん、大変お疲れ様でした！！

当会は引き続き「サステナブル経営ポリシー」に基づき、継続的な森林保全事業をはじめとする地域貢献活動を積極的に実践し、持続可能な地域社会の実現に向けて貢献してまいります。

本件に関するお問い合わせ先 埼玉県信用農業協同組合連合会 総合企画部 TEL048-829-3539